



2009年3月期決算 説明会資料

2009年6月2日
ディービーエックス株式会社
(証券コード:3079 JASDAQ)

会社プロフィール

- 社 名 ディービーエックス株式会社 (DVx Inc.)
- 所 在 地 東京都豊島区高田二丁目17番22号
- 代 表 者 代表取締役社長 若林 誠
- 営 業 拠 点 国内10拠点
- 従 業 員 数 146名 (2009年3月末現在)

沿革

- 1986年 心臓ペースメーカー販売とフォローアップ業務を目的として、**(株)ヘルツ**を設立
- 1992年 不整脈分野の商品「**心臓電気生理検査用機器**」の輸入販売を開始
- 1997年 自社商品拡大のため医療機器輸入会社(有)シー・エム・アイジャパンを子会社化
(株式会社に改組後、ディービーエックスジャパン(株)に商号変更)
- 2000年 虚血分野の商品「**自動造影剤注入装置**」の輸入販売を開始
- 2004年 ディービーエックスジャパン(株)を吸収合併
(株)ヘルツからディービーエックス(株)に商号変更
- 2007年 ジャスダック証券取引所に**株式上場**。**全国8拠点体制**を構築。
- 2008年 「**エキシマレーザ心内リード抜去システム**」の薬事承認を取得
「横浜南営業所」を開設。全国10拠点体制に拡充。

当社の主要商品

DVxは、“循環器分野”に特化した医療機器販売会社

不整脈事業

電極カテーテル
(心臓電気生理検査用)



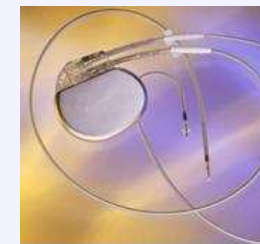
電極カテーテル
(アブレーション用)



ICD
(植込み型自動除細動器)

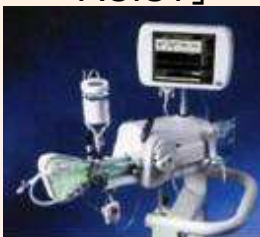


心臓ペースメーカー



虚血事業

自動造影剤注入装置
「ACIST」



エキシマレーザ
血管形成システム



PCIカテーテル



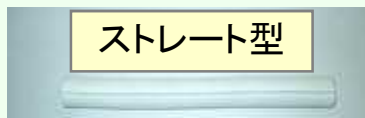
研究開発中

人工血管

Y字型



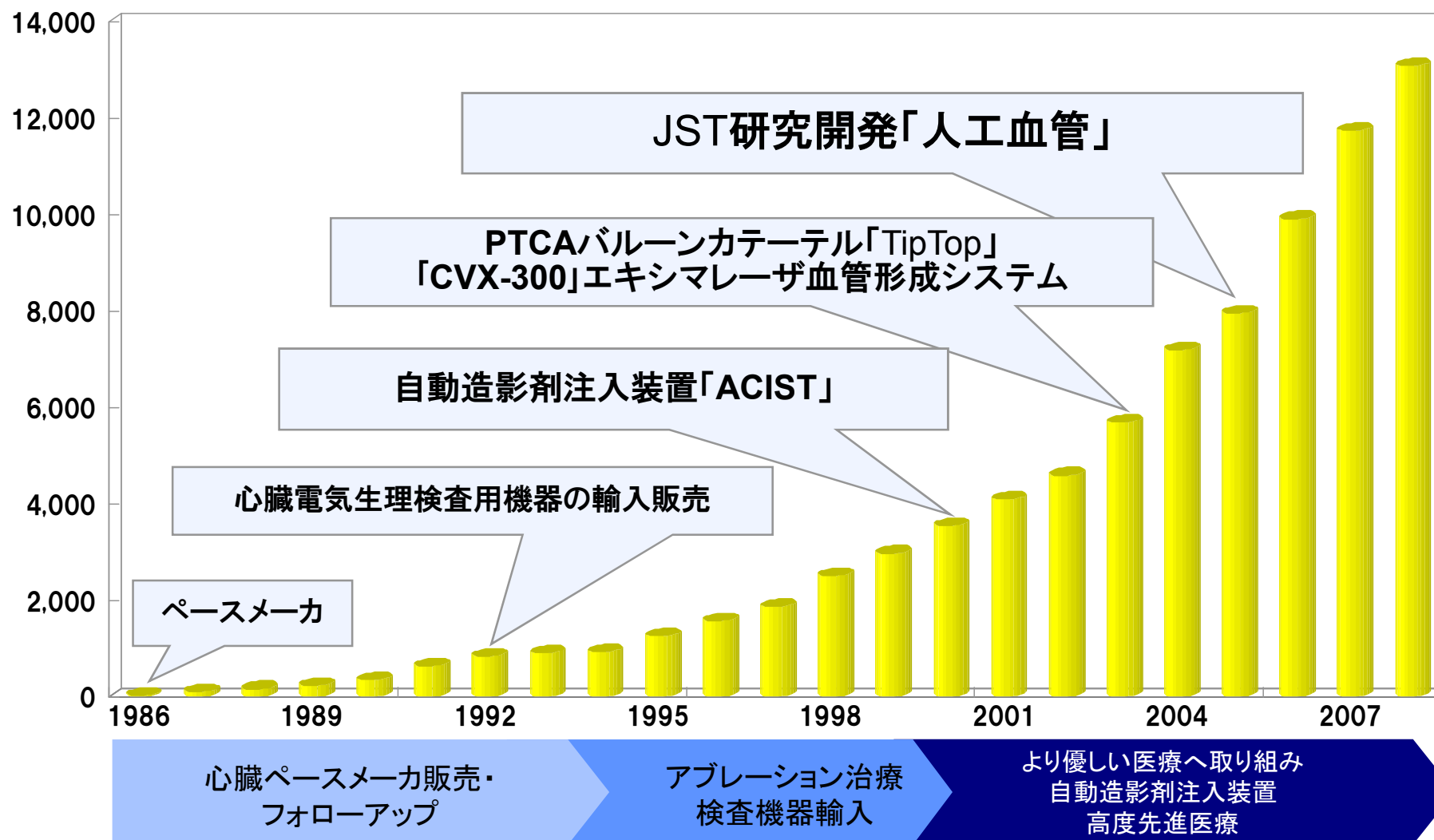
ストレート型



当社の強み

ニーズを先取りして、高付加価値サービスを開拓

売上高(百万円)



I 決算(実績と予想)

II 新たな挑戦 中期経営の方向性

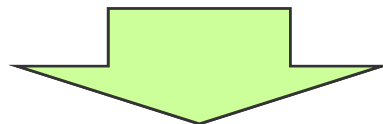
III ご参考資料

09/3期 決算のポイント

Point: 逆風の事業環境下で09/3期がスタート

- ・特定保険医療材料に関する「保険償還価格」の引き下げ
- ・「医療機関等における医療機器の立会いに関する基準」の実施

Point: 売上成長を持続させ、前年実績以上の営業利益の確保を最重要目標として事業を展開



09/3期実績

- ・売上高は期初予想比微減となったが営業利益は微増を確保

売上高：13,080百万円（期初予想：13,356百万円）

営業利益：463百万円（期初予想：460百万円）

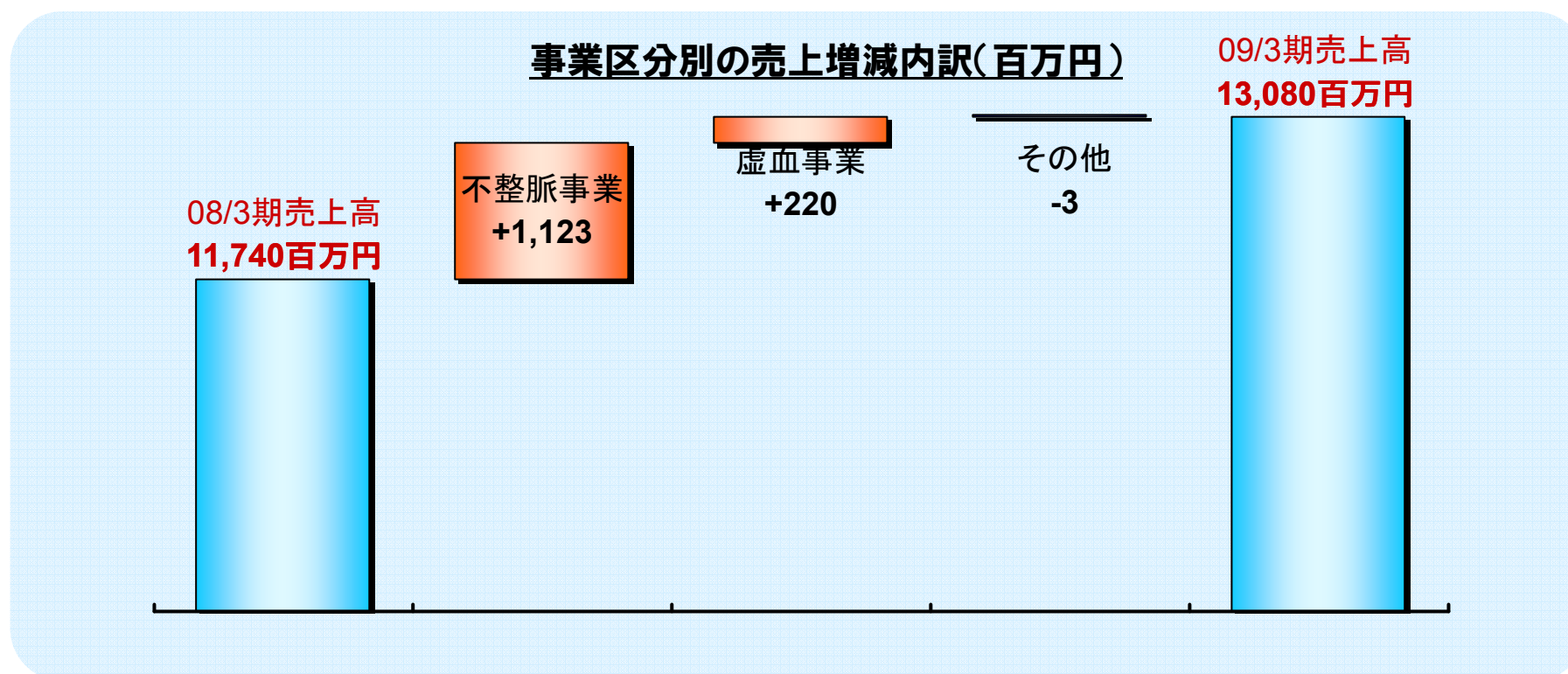
09/3期 決算概況

(百万円、%)

		08/3期	09/3期		期初予想	
			前年比	期初予想比		
売上高		11,740	13,080	111.4	97.9	13,356
	不整脈事業	10,167	11,290	111.1	100.2	11,267
	虚血事業	1,545	1,766	114.3	85.6	2,064
売上総利益		2,558	2,715	106.1	-	-
営業利益		459	463	100.9	100.7	460
経常利益		420	525	125.1	116.7	450
当期純利益		236	277	117.6	113.3	245

- 主力商品で販売価格下落はあったが、売上高は前年比111.4%。
✓虚血事業は期初予想を下回ったが前年比114.3%。不整脈事業は拡大持続。
- 営業利益は前年比100.9%、目標に掲げた前年水準の確保を実現。
✓経常利益はデリバティブ評価損益がマイナスからプラスに転じ、前年比125.1%。

09/3期 売上高の増減内訳



・不整脈事業の売上増減要因(前年比+1,123百万円)

- ✓保険償還価格低下の影響を補い、ICD関連、電極カテーテル関連の増加が牽引。
- ✓PM関連は計画通り下期に回復、通期では前年比プラスを確保。

・虚血事業の売上増減要因(前年比+220百万円)

- ✓「ACIST」の機器本体は、前年並みの販売数
- ✓「ACIST」のディスポーザブルキットが順調に増加

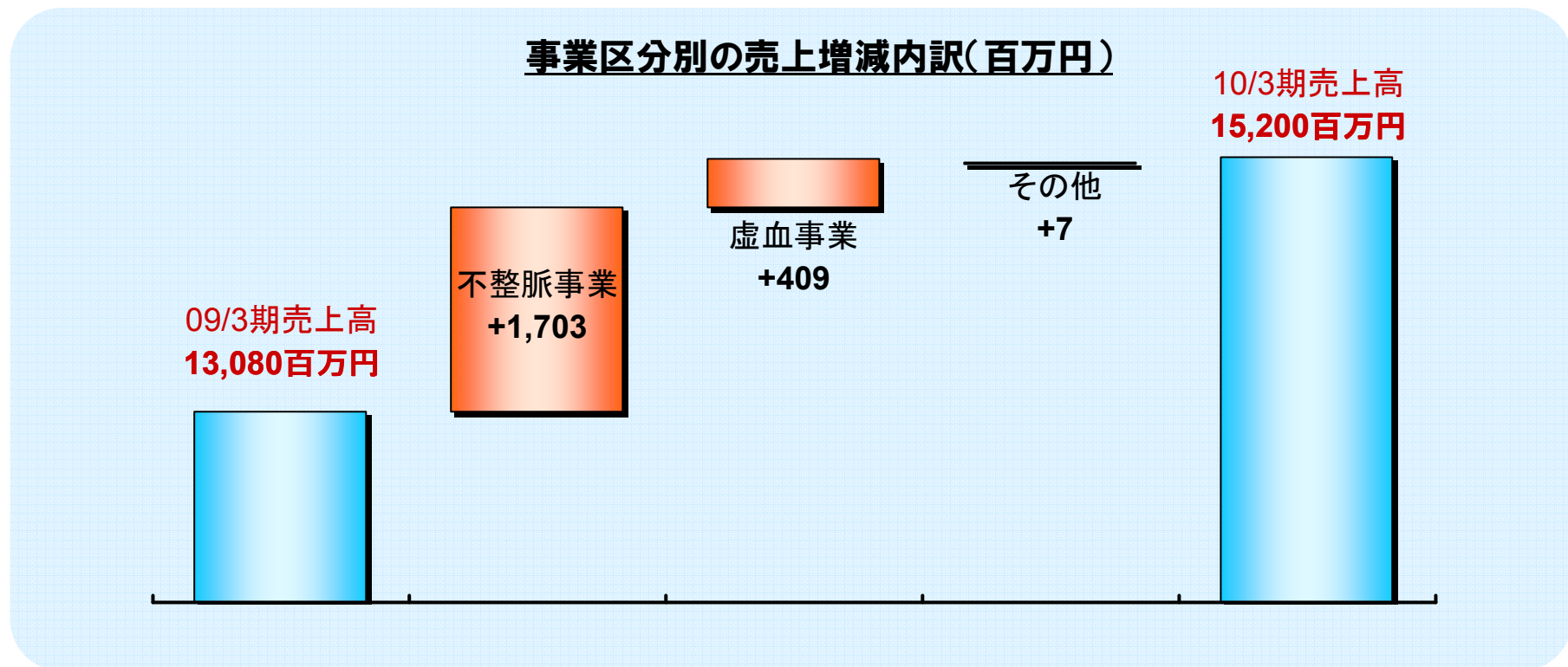
10/3期 通期業績予想

(百万円、%)

	09/3通期	10/3通期	前年比
売上高	13,080	15,200	116.2
不整脈事業	11,290	12,993	115.0
虚血事業	1,766	2,176	123.2
その他	23	30	130.4
営業利益	463	534	115.3
経常利益	525	530	100.9
当期純利益	277	292	105.2

- ・不整脈事業の拡大、虚血事業の強化により、売上高は前年比116.2%。
- ・保険償還価格の改定もなく、営業利益は増益。前年比115.3%。
- ✓経常利益はデリバティブ評価益、為替差益を見込んでおらず、前年並み。

10/3期 通期売上予想の増減内訳



・不整脈事業の売上増減要因(前年比+1,703百万円)

- ✓保険償還価格の引下げが無いため販売価格を維持
- ✓引続き、ICD(植込み型除細動器)、電極カテーテルを中心とした販売拡大

・虚血事業の売上増減要因(前年比+409百万円)

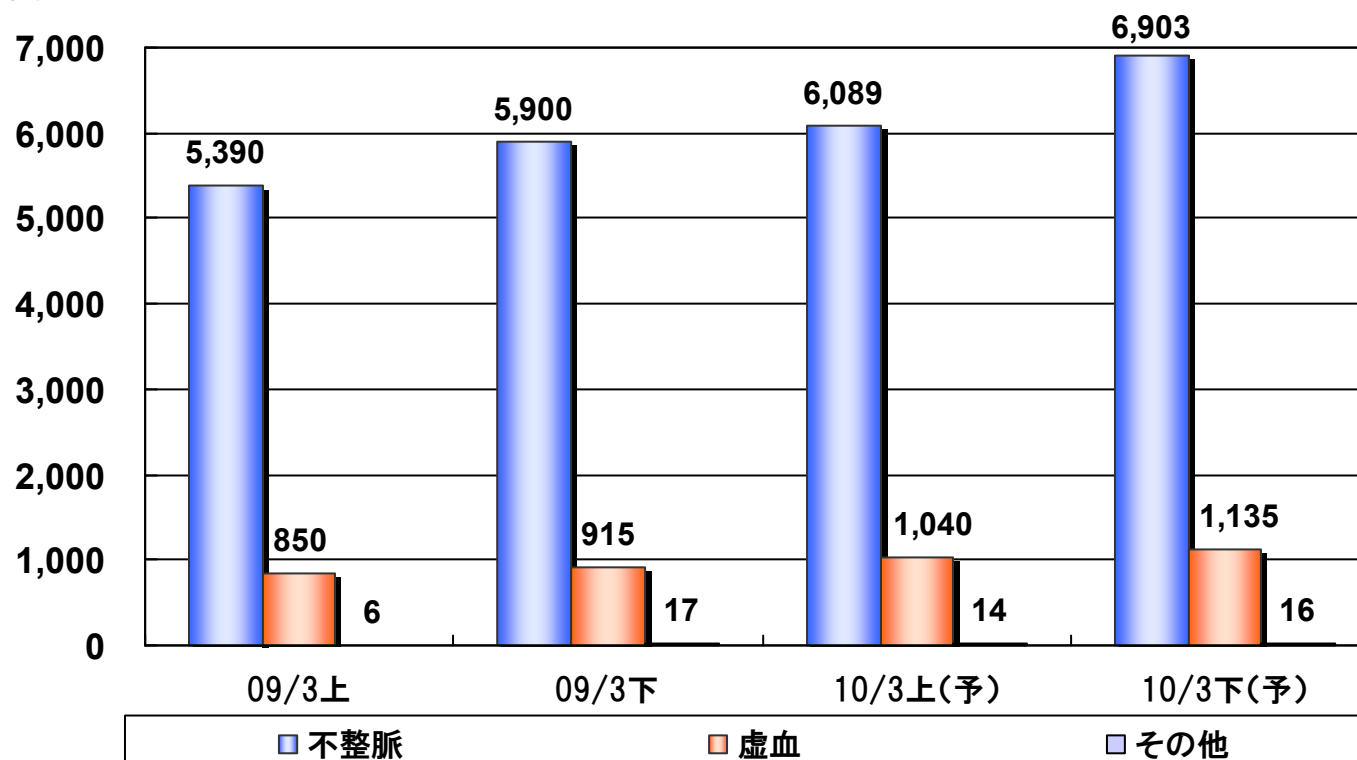
- ✓「ACIST」及びバルーンカテーテルの新ラインナップによる販売拡大
- ✓「エキシマレーザ心内リード抜去システム」の本格導入による売上増加

10/3期 業績予想(上期／下期別)

(百万円、%)

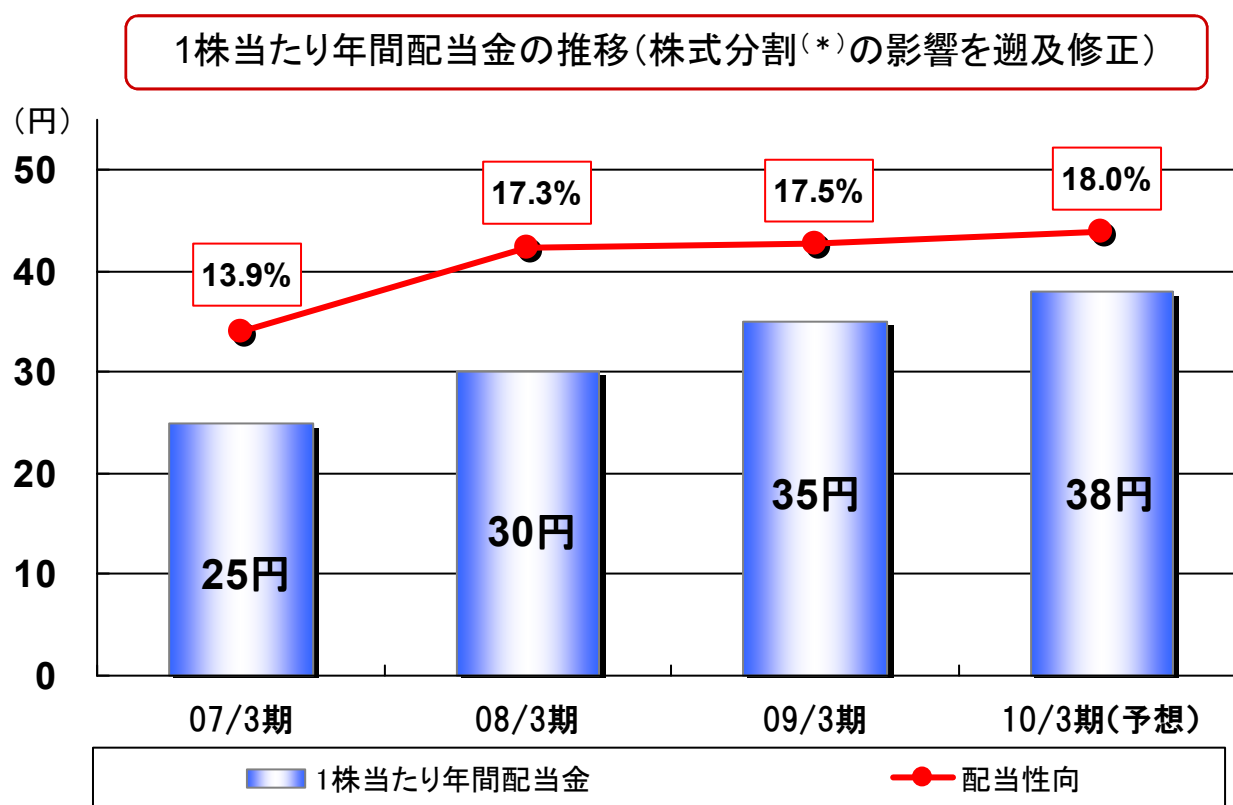
	09/3上期	09/3下期	10/3上期		10/3下期	
				前年比		前年比
売上高	6,247	6,833	7,144	114.4	8,056	117.9
営業利益	167	295	192	114.8	341	115.6

売上高(百万円)



10/3期配当予想

持続的な業績向上を通じた安定配当を目指す



(*) 2008年4月1日を効力発生日として1:2の株式分割を実施

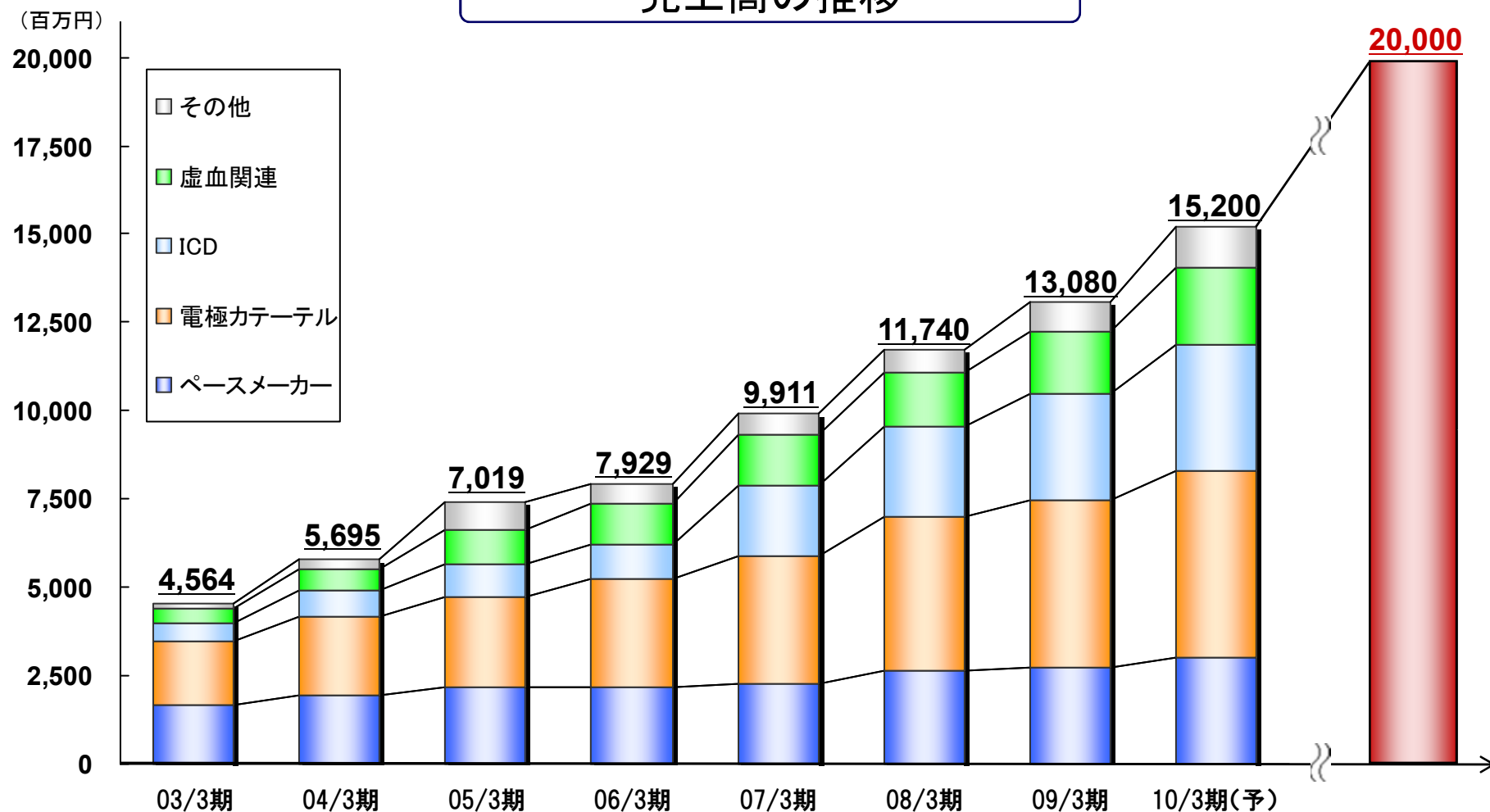
I 決算(実績と予想)

II 新たな挑戦 中期経営の方向性

III ご参考資料

新たな挑戦：売上高200億円体制

売上高の推移



(注1) 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

(注2) 05/3期には、2004年2月1日付のディービーエックスジャパン株式会社との合併による売上高等の増加の影響が含まれています。

売上高200億円体制に向けた基盤構築と強化

1. 基盤事業における更なる市場深耕

2. 「技術サービス力」の積極的提供、
差別化推進

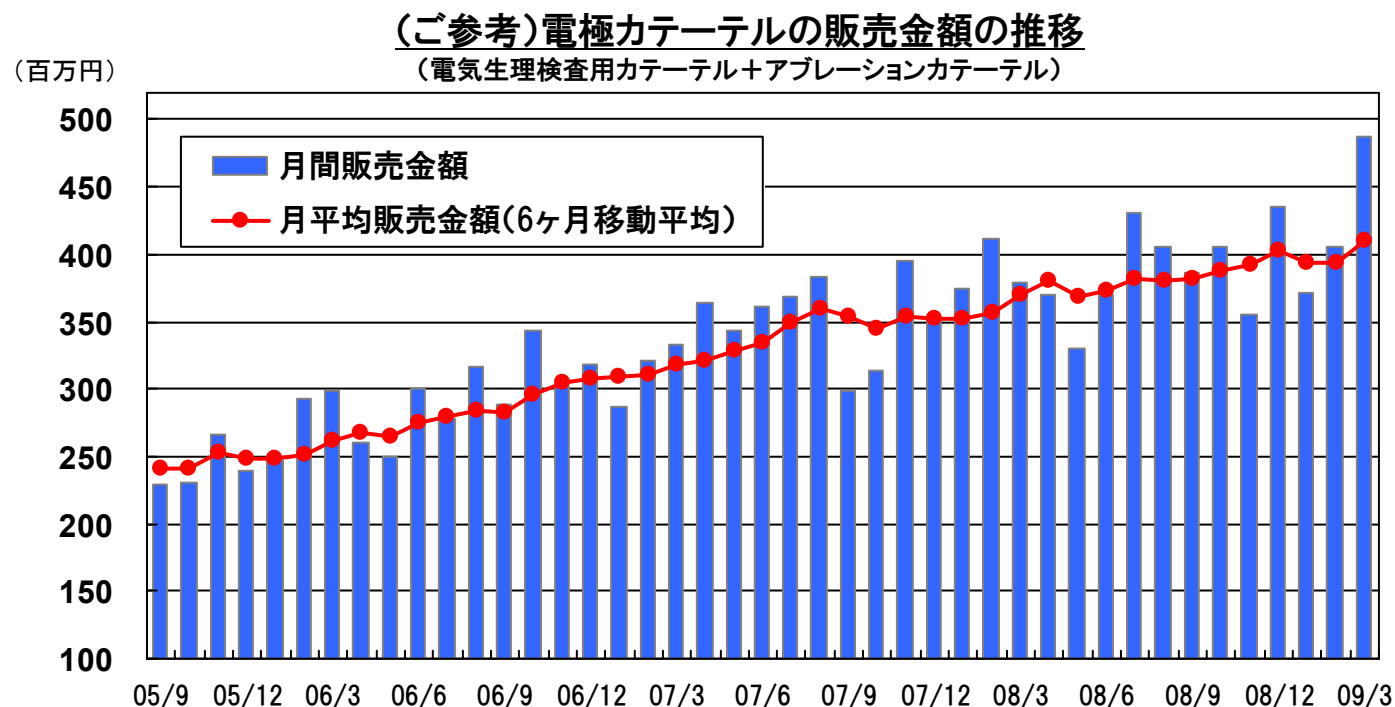
3. 「新製品パイプライン」の獲得、開発強化

4. 効率経営の実施

事業別の取組み①:不整脈事業

保険償還価格改定に耐えうる安定成長基盤として強化

- 基軸関東圏の深耕、販売領域の拡大
- 市場開拓部を新設、本格的活動による新規施設の獲得
- 成果報酬制の継続、「変革」に向けてのモチベーション向上策導入

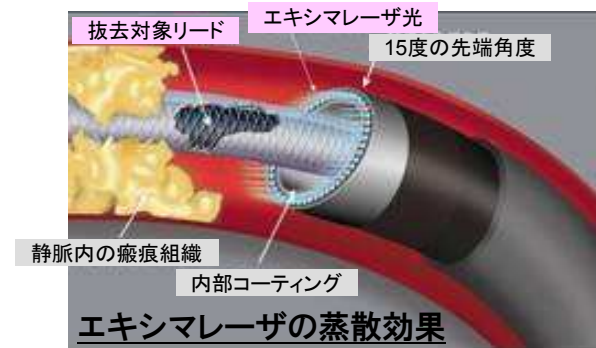


事業別の取組み②: 虚血事業

一段の拡大に向けた「攻め」と「守り」

- ・ パワーインジェクタ(ACIST)買換え需要をターゲットに市場再開拓
- ・ エキシマレーザの薬事承認(心内リード抜去以外)、保険適用の取得(注)
- ・ 商品ライン拡大を前提とした販売体制の強化(4拠点 2009.6.1現在)

エキシマレーザ血管形成装置



冠動脈形成

2008年7月1日 薬事承認取得
心内リード抜去

末梢血管形成

植込み型ペースメーカー及び植込み型除細動器の
リード線の低侵襲抜去

新商品・新たな価値の創造

手軽に健康状態を確認できる携帯型ヘルスマニターを開発

「健康博覧会2009」に展示紹介

健康データの測定

HealthPod™ Jr.

ストレスチェック

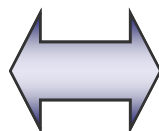
歩数

歩行距離

消費カロリー

体脂肪率

心拍数



健康データの管理

Consult your Health
コンサルト ユア ヘルス

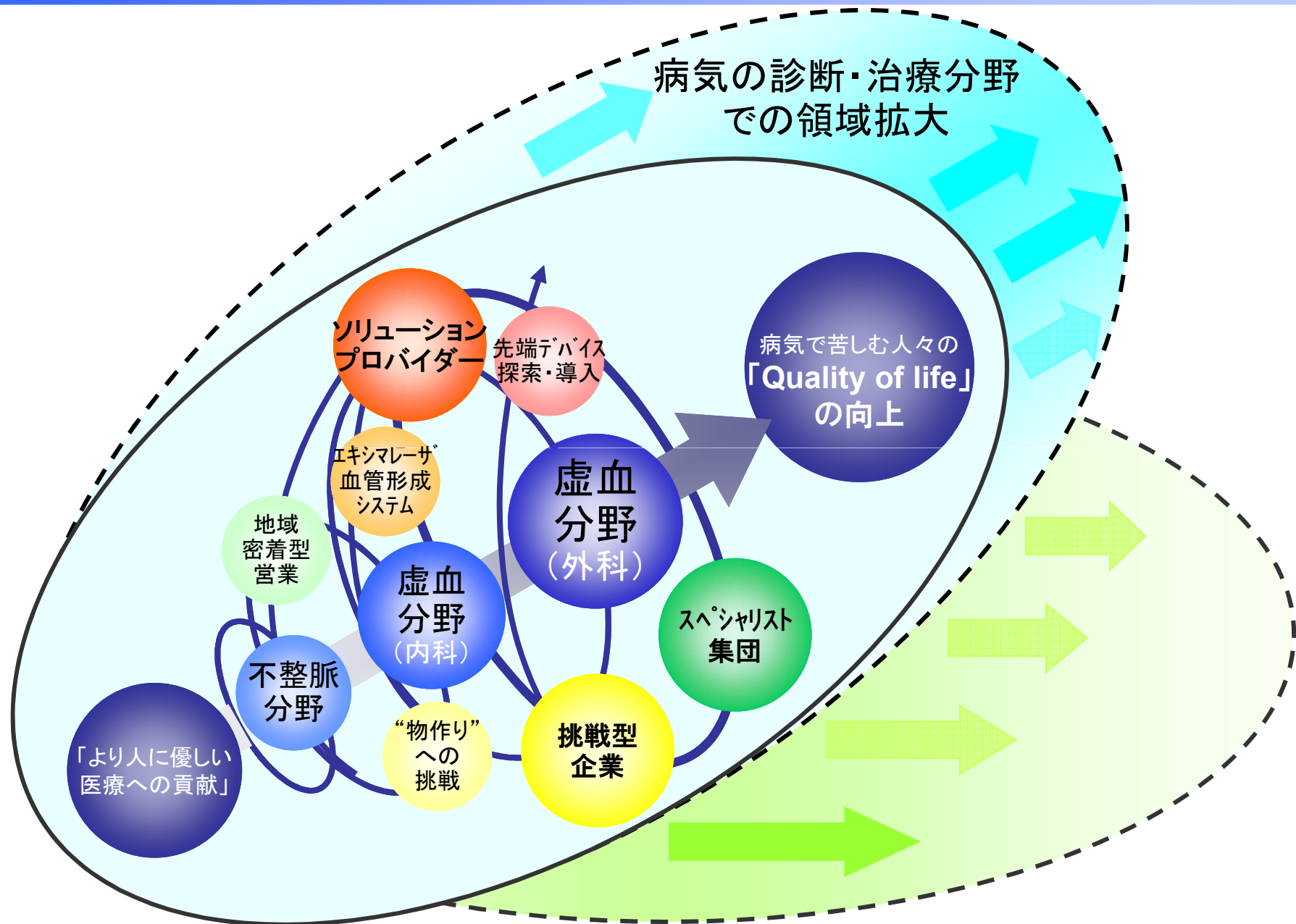
専用Webサイト

インターネット上に
健康データを送信



臨床現場だけでなく日常的な健康管理にも貢献

循環器専門に発展を目指す“スペシャリスト集団”





**Development
Venture**

xー「未知数」「無限の可能性」

ディーブイエックス株式会社 (DVx Inc.)

I 決算(実績と予想)

II 新たな挑戦 中期経営の方向性

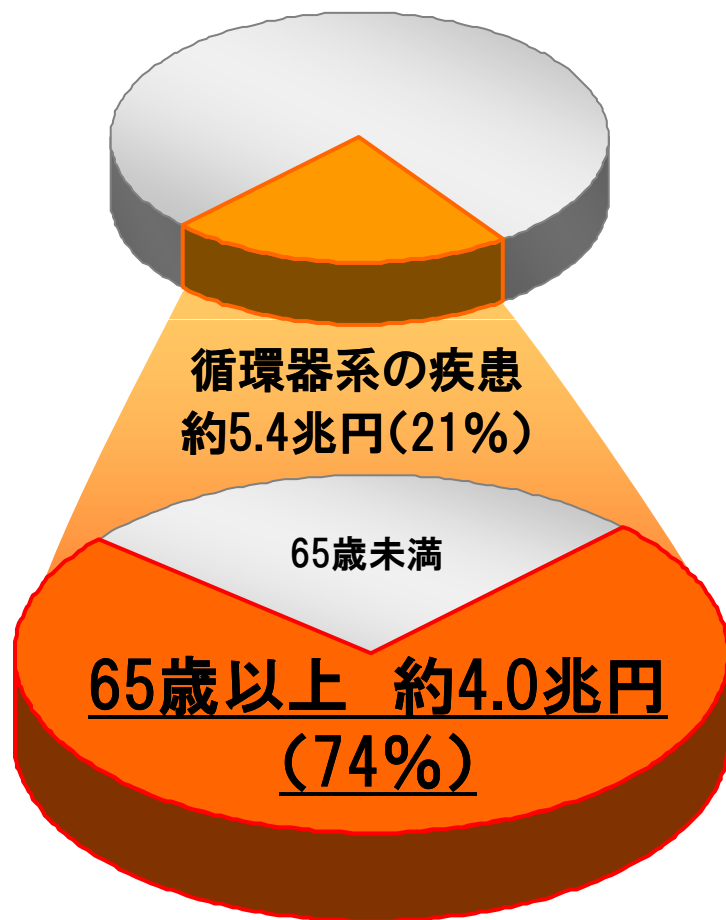
III ご参考資料

循環器分野の特徴

当社が得意とする“循環器分野”は巨大な成長市場

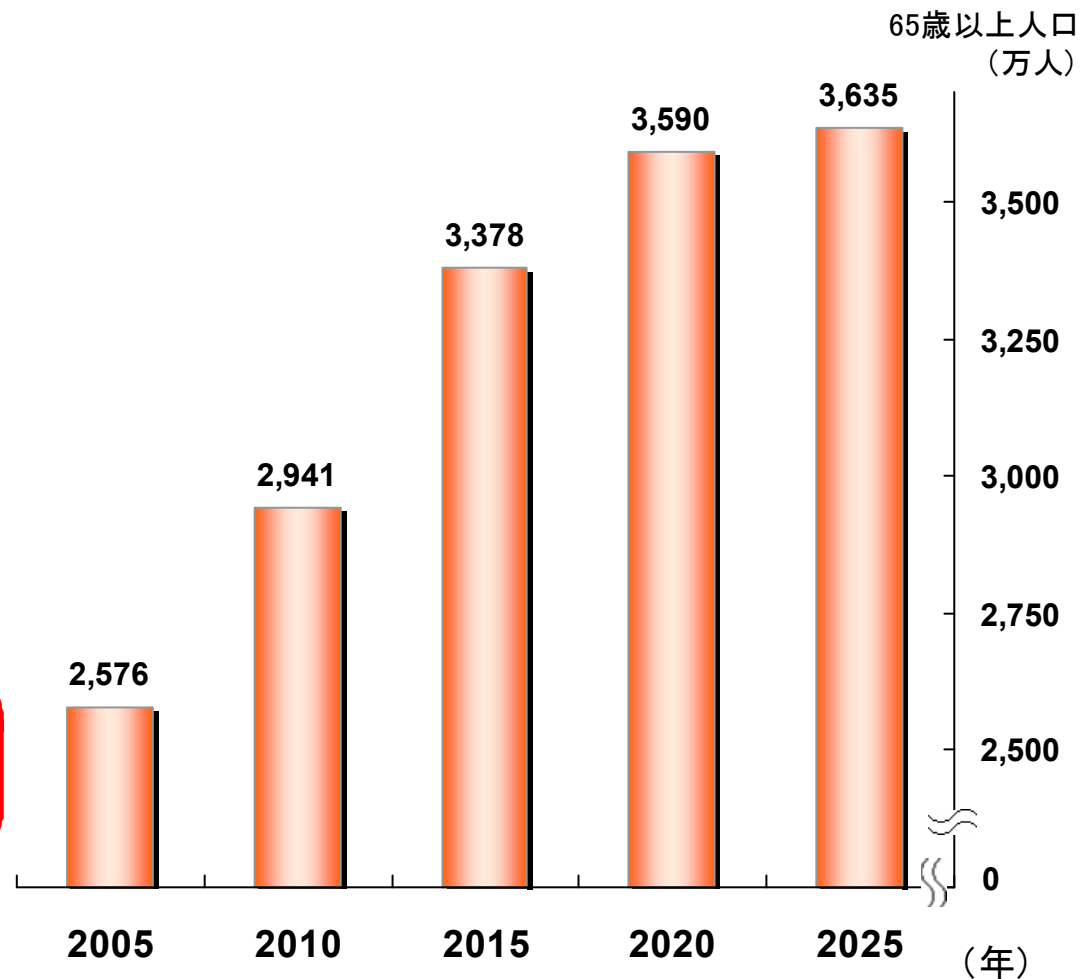
循環器系の疾患の「特徴」

国民医療費:推計約25兆円



資料:厚生労働省「国民医療費の概況」(2005年度)

65歳以上の将来推計人口

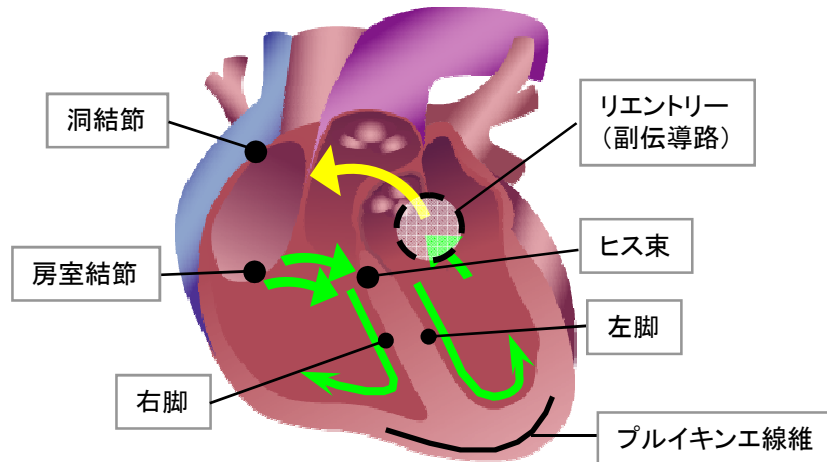


資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2006年12月推計)
出生中位(死亡中位)推計を使用。

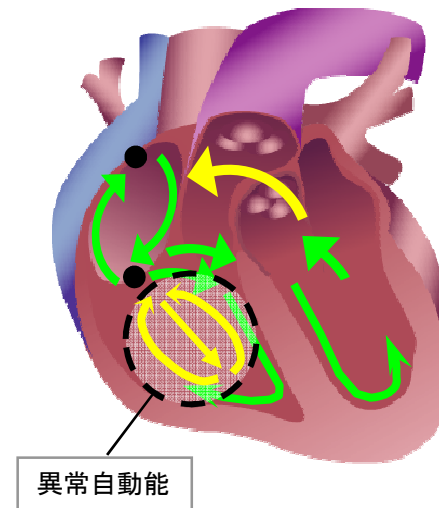
頻脈の根治療法として開発された「心筋焼灼術(アブレーション)」

■ 頻脈のメカニズム

例1. リエントリーによる頻脈



例2. 異常自動能による頻脈

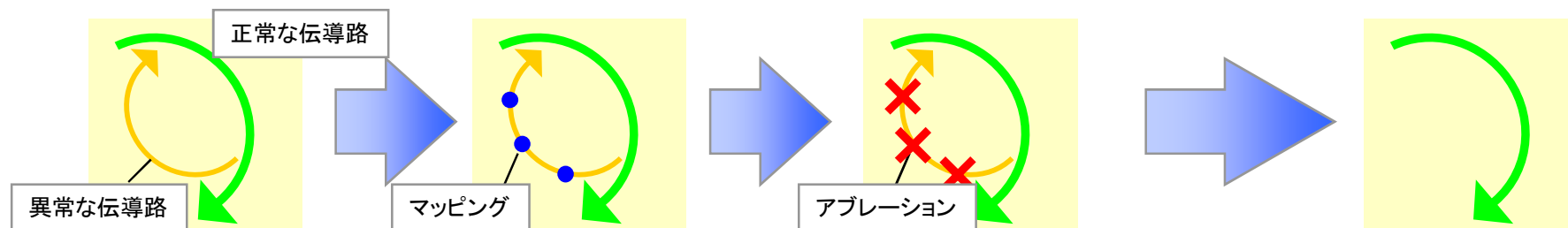


■ 心筋焼灼術(アブレーション治療)の手順

電気生理検査による
異常部位の特定

焼灼部位の特定

高周波エネルギーを通電、
異常部位を焼灼

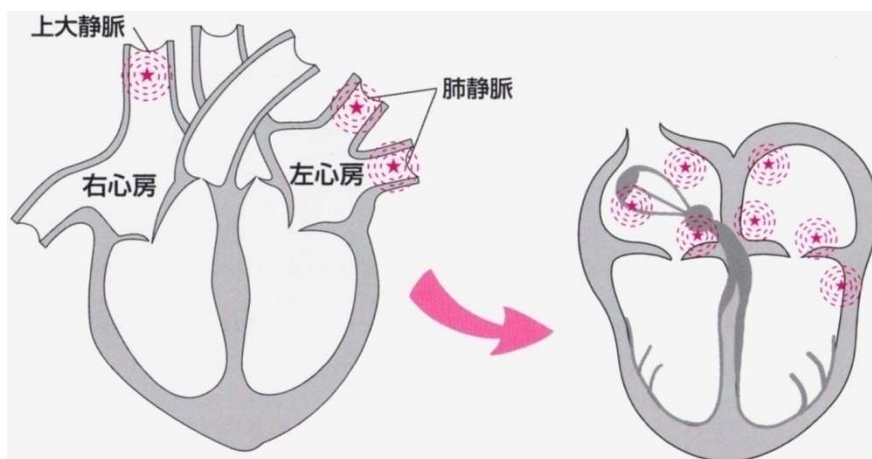


■ 手技の改良が進み、心房細動の根治療法としても利用

心房細動の治療にも活用されるアブレーション治療

難易度の高い「心房細動」において、アブレーション治療が増加中

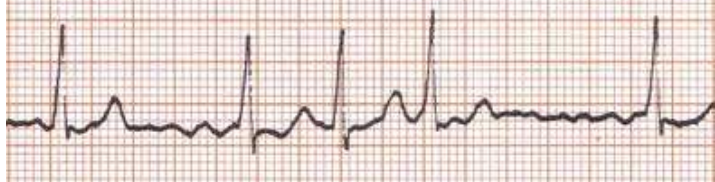
■心房細動のメカニズム



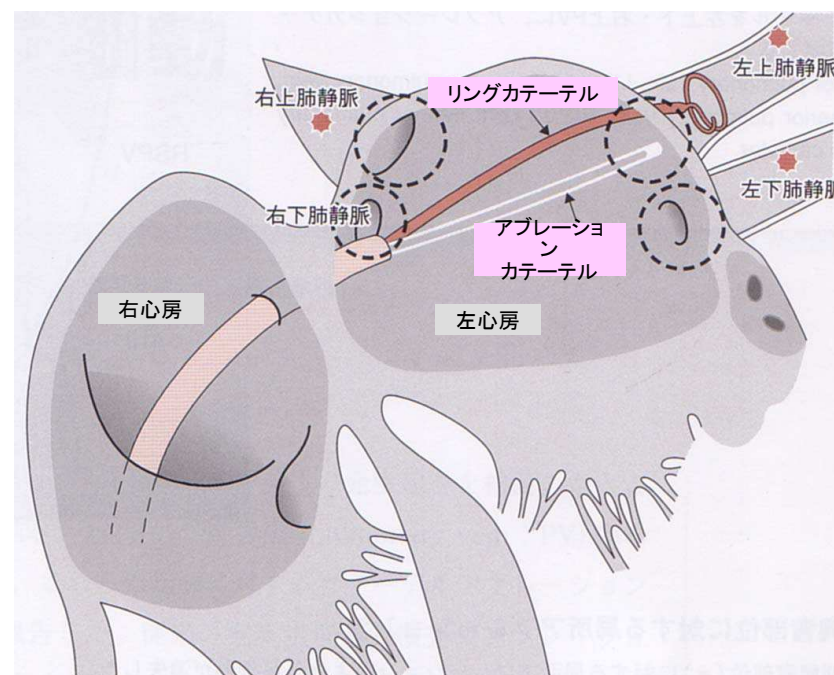
正常時(A)の心電図・・・71bpm



心房細動時(B)の心電図・・・50～140bpm



■心房細動のアブレーション治療



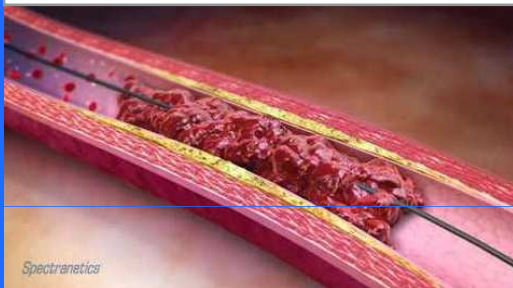
アブレーション治療増加のポイント

- Point①: 心房細動のメカニズム解明
- Point②: アブレーション手技の改良
- Point③: アブレーション手技の普及

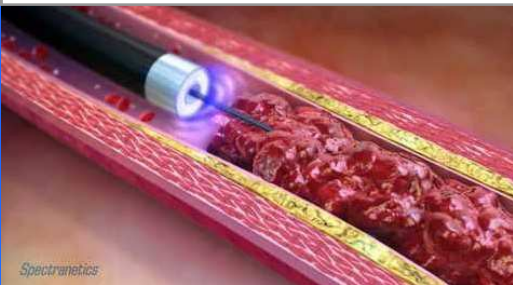
新医療デバイス「エキシマレーザ血管形成システム」

再狭窄対処、ペーシングリード抜去、末梢血管形成が可能な新医療デバイス

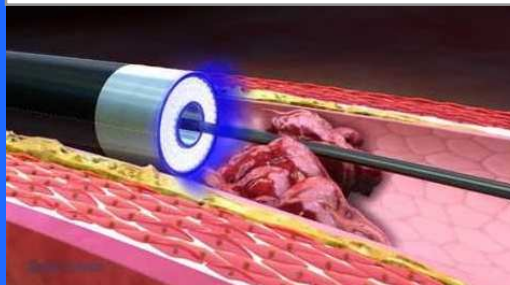
病変部へガイドワイヤーを通す



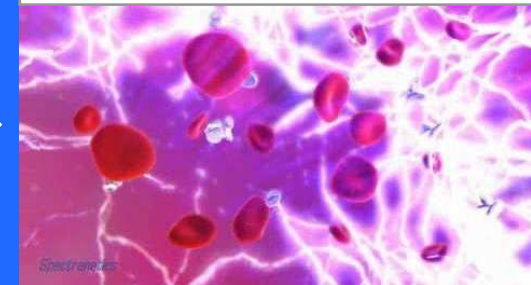
レーザカテーテルを入れる



病変部へレーザを照射



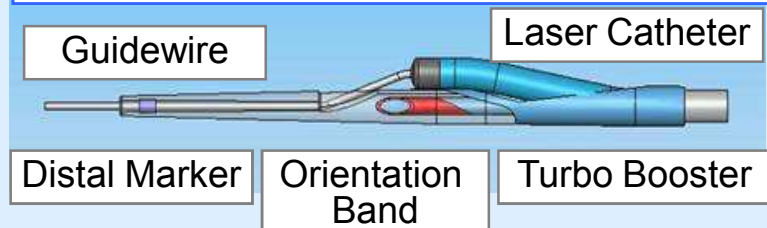
病変部が蒸散



エキシマレーザ概観



2-2. Turbo Booster



X線不透過ライン
ガイドワイヤールーメン
光ファイバ

本資料における注記事項

- ◆ 本資料は投資家の参考に資するため、ディービエックス株式会社(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。
- ◆ 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

- ◆ 本資料ならびにIR関係についてのお問い合わせ先

IR・広報室長 田島 恵美子 TEL:03-5985-6827 FAX:03-5985-6106

URL <http://www.dvx.jp/>